



「やさか地域」って？

「やさか」と聞いてご存知の方は少ないかと思えます。

平成十七年二月にいわゆる「平成の大合併」が中津川市で行われました。この中では、全国的にも稀な「廃置分合決定告示」(長野県木曾郡山吹村を廃しその区域を岐阜県中津川市に編入する)がされ旧山吹村も岐阜県中津川市となりました。

旧来より交流があった山吹村、坂下町、川上村の頭文字を取って「やさか地域」として三つの地区が観光などのPRを行っています。今回はやさか地域の観光についてご紹介します。

◆旧山口村

観光の目玉としては、馬籠宿があります。云わずと知れた観光地でいまさらの説明は省略させていただきますが、斜面に立ち並ぶ宿場の面影や島崎藤村の生地としてあまりにも有名です。

◆旧坂下町

坂下地区には、古くからの観光地に加

え、昭和四十四年に第一回全日本フォークジャンボリーが椈の湖で開催されたことを記念して、平成二十七年四月に「フォークジャンボリー記念館」が中津川市坂下総合事務所内に開館しました。平日のみの完全予約制での拝観となりますが興味がある方は一度足を運ばれてはいかがでしょうか。



現在の椈の湖

◆旧川上村

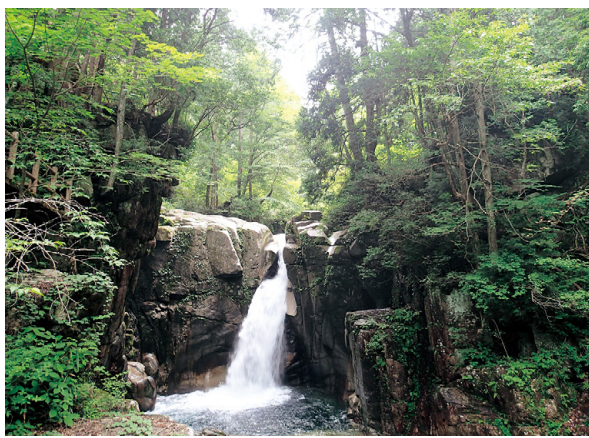
川上地区には「夕森公園」があります。年間約十五万人の来訪者があり、入り口にはかつて活躍した森林鉄道の機関車が訪れた人々を迎えてくれます。

公園内には、「竜神の滝」「銅穴の滝」などの滝めぐりや、一〇〇を超えるバンガローでのキャンプなど滞在して自然を楽しむことも可能となっています。



公園入口のディーゼル機関車

また、毎年、十一月上旬には「夕森もみじまつり」が開催されます。カエデを中心とした色鮮やかな紅葉が訪れた人の目を楽ませてください。なかでも大きな石の上に根を張りバラ



勇壮な竜神の滝

ンスを保ちながら成長しているもみじがあります。その姿から「ド根性もみじ」と名付けられ、その鮮やかな紅葉とともに「夕森公園のシンボル」となっています。まだまだ見る、遊ぶ、食べるに事尽きない地域です。一度、訪れてみてはいかがでしょうか。



紅葉した「ド根性もみじ」

◆アクセス(夕森公園)

(公共交通機関)
JR 中央本線坂下駅下車、北恵那交通バス「夕森公園口行」 約二〇分
(自家用車)
中央自動車道中津川IC(国道十九号線を北上、弥栄橋交差点を左折し川上方面へ、案内看板により夕森公園